



一関市消防本部

一関市

広報 119

2024 秋号 vol.36

発行日 令和6年11月20日

編集 一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目字中野 140-3

TEL 0191-25-0119(代表)



消防本部の概要、災害情報、119番通報のしくみ、生活安全情報などを紹介しています

▲一関市消防本部 HP



連携して救出

令和6年11月2日(土)、3日(日)秋田県秋田市で開催された、令和6年度緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に、一関市消防本部から指揮隊、救助隊、後方支援隊の3隊11名の隊員が参加しました。

訓練の想定は「秋田県で最大震度7を観測する地震が発生し、秋田市及び近隣市町村では、建物倒壊、火災、土砂災害、地盤沈降等により甚大な被害が発生した。」との想定で行われ、各消防本部と連携し、土砂に埋没した家屋から要救助者を救出するといった訓練を実施しました。

訓練

令和6年度緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練

2日間にわたる訓練

一関市消防本部が参加している岩手県大隊(23隊81名)は、2日間にわたり合同訓練に参加し、指揮隊は訓練現場の状況と関係者から得た情報を基に活動方針を的確に示し、救助隊は他隊と連携した活動を行い、迅速に要救助者を救出することができました。

また、後方支援隊は大規模災害時同様に野営及び給食訓練を行い活動隊のサポートを行いました。



令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受彰 ＜中里まちづくり協議会が受彰し市長報告＞

表彰



中里まちづくり協議会は、令和6年9月13日に総理大臣官邸において行われた表彰式に同協議会会長の小野寺和雄氏が出席し、令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受彰しました。

また、翌10月4日には、市役所で受彰を市長に報告しました。

防災功労者内閣総理大臣表彰は、防災の日(9月1日)、防災週間(8月30日から9月5日)に合わせて、国内で発生した各種の災害に際し、被害の軽減に尽力された方や、防災思想の普及、防災体制の整備に力を尽くされた個人や団体を、内閣総理大臣が表彰するものです。

中里まちづくり協議会は、構成する各種団体と連携して、防災マップの作成や毎年実施している防災訓練など様々な防災活動を行っており、住民の防災意識の普及啓発や地域防災力の向上に貢献された功績が、この度認められたものです。



↑記念撮影をする阿部茂消防長(左)、中里まちづくり協議会事務局の齊藤裕美氏(左中)、同協議会会長の小野寺和雄氏(右中)、佐藤善仁市長(右)



↑市長に受彰の報告をする中里まちづくり協議会会長の小野寺和雄氏(右)、同協議会事務局の齊藤裕美氏(左)

一関地区支部合同訓練 ～指導者への道～

消防団



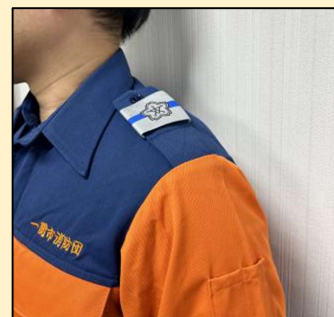
← 講義を受ける消防団員

令和6年10月6日(日)、令和6年度一関地区支部合同訓練が一関水泳プール駐車場を会場に開催されました。

この訓練は、消防ポンプ運用の指導者となる消防団員の養成を目的に令和5年度から開催しており、一関市消防団と平泉町消防団から49名の消防団員が参加しました。

当日は、市内の消防ポンプ取扱業者をはじめ、消防ポンプ製造業者や消防職員が講師となり、講義と実技を通して消防ポンプの構造や運用について学びました。

訓練に参加した消防団員は「若手団員への指導に活かしたい。」と決意を新たにしていました。



訓練課程を修了した消防団員には、一関地区支部長から修了証と、修了者の証である【肩章】が授与されました。

救 急

重篤な疾患などで人生の最終段階にある方が心肺蘇生を望まない場合の救急活動について

市消防本部では、重篤な疾患などで人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない方が救急車を要請した場合の救急活動を 10 月から開始しています。

【内容】 救急現場で以下の項目がすべて確認できれば心肺蘇生を中止し、現場に到着したかかりつけ医に引き継ぐことを可能としました。

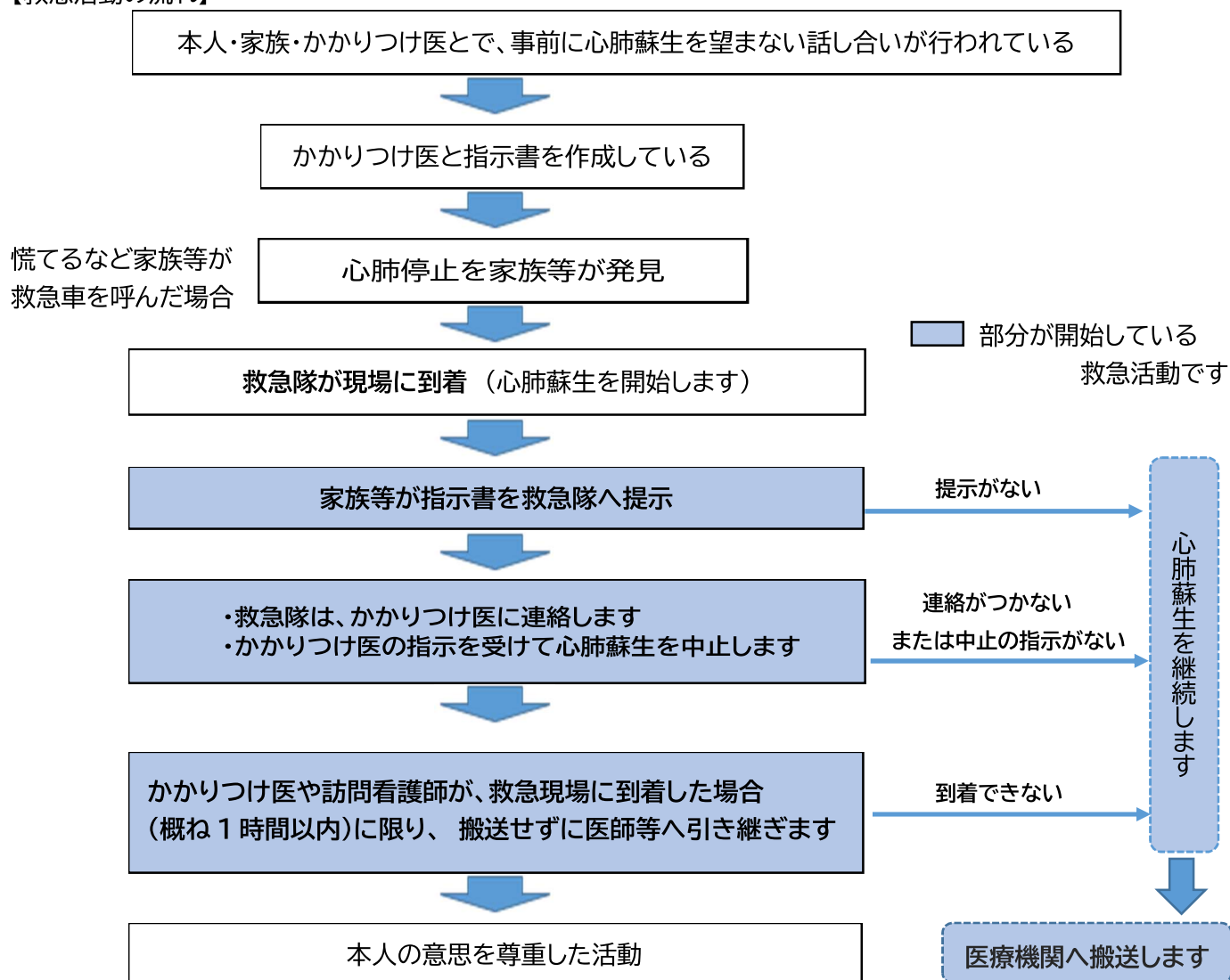
●家族等から提示された「指示書」の確認

「指示書」とは：本人及び家族等とかかりつけ医との間で、心肺蘇生を行わないこと
の意思表示や事前指示について作成した文書

●救急隊がかかりつけ医へ連絡し、心肺蘇生中止指示の確認

●かかりつけ医や訪問看護師が、現場に到着(概ね 1 時間以内)できるかの確認

【救急活動の流れ】



※ただし、以下の場合には、心肺蘇生を行う活動となります。

交通事故・自傷・異物による窒息などの外因性によって心肺停止が疑われる場合や、救急現場に心肺蘇生の実施・継続を求める方がいる場合

防災

防 災 備 蓄

のススメ

～ 北海道・三陸沖後発地震注意情報が運用開始 ～

北海道・三陸沖後発地震注意情報とは？

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域やその周辺でマグニチュード7以上の地震が発生し、大規模地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっている際に発表される情報で、令和4年12月16日から運用が開始されました。

三陸沖や北海道の太平洋側の沖合(日本海溝・千島海溝沿い)の領域では、マグニチュード7クラスの地震が発生した後に、さらに大きな地震が発生した事例が確認されています。

そこで、この領域でマグニチュード7以上の地震が発生した場合に、北海道・三陸沖後発地震注意情報を発信して、大きな地震の発生への備えを呼びかけます。

不足の事態に備えた防災備蓄を！

令和6年1月の能登半島地震(石川県)や8月の日向灘沖(宮崎県)の地震など、大きな地震が全国で発生しています。以下の基本的なチェックリストを参考に、自宅に不足しているものを確認してみるところから始めましょう。日用品を「ちょっと多め」に設定することで、災害時に慌てずに備えることが出来ます！

非常持ち出し品チェックリスト【例】

- | | | |
|---|--|--------------------------------------|
| ☐ 非常食(缶パン、アルファ米など) | ☐ ライター | ☐ 着替え |
| ☐ 飲料水(500ml×人数分) | ☐ 防寒衣(冬場) | ☐ 給水袋 |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 生理用品 | ☐ 雨具 |
| ☐ 携帯電話 | ☐ ばんそうこう(10枚程度) | ☐ 簡易トイレ |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ タオル(5枚程度) | ☐ ウェットティッシュ |
| ☐ 万能ナイフ | ☐ トイレットペーパー(1ロール) | ☐ マスク(適量) |
| ☐ 軍手・手袋 | ☐ 筆記用具、ノート | ☐ 体温計 |
| ☐ レジャーシート | ☐ スリッパ | ☐ 消毒液 |
| ☐ ロウソク | ☐ 常備薬・持病薬 | ☐ ハンドソープ・固形石鹸 |
| ☐ ブランケット | ☐ 連絡先一覧 | |

さらに！

いちのせきメール登録で行政情報もチェック！

「いちのせきメール」では、メールとアプリで
 ●火災の出場状況、交通事故などの救助情報
 ●屋外広報マストの放送内容、イベントの中止情報
 など行政から発信される様々な情報を配信しています。

メール
登録用アプリ
登録用Android
版iOS
版

発行日 令和6年11月20日
 編集 一関市消防本部
 〒021-0053 岩手県一関市山目中野140-3
 TEL (0191)25-0119 (代表)

一関市消防本部HP
メール、アプリの登録はこちらから